



薬学生ニュース

2013 年春号

2013. 4. 1 発行

ご入学・ご進級

おめでとうございます



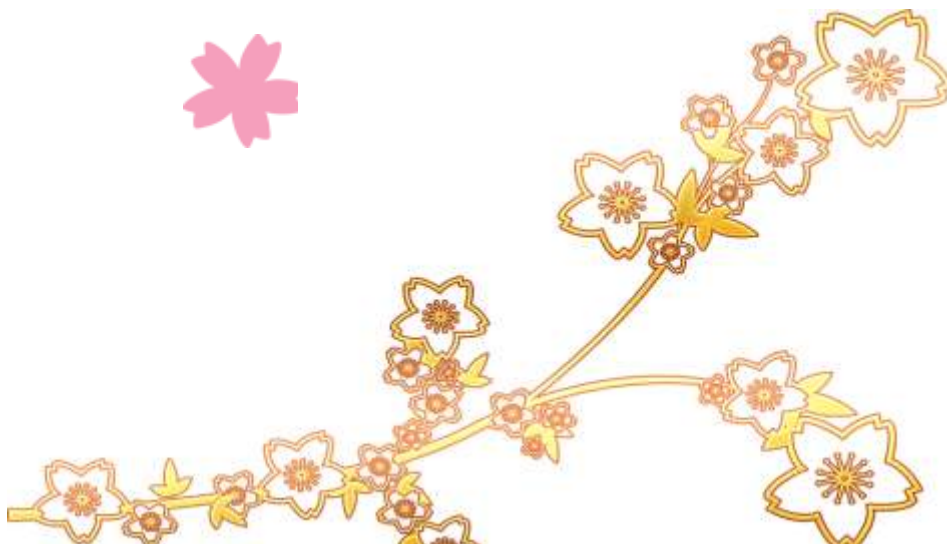
薬学生の皆さん。

ご入学、ご進級おめでとうございます。

京都コムファ薬学生ニュース 2013 年春号をお届けします。

薬学生ニュースでは、薬学生の皆さんからの「こんな事が知りたい」というご意見や、記事に対するご感想を募集中です。ご意見・ご感想は裏面のメールアドレスまで。

薬学生の皆さんにとって、たくさんの幸多き春の門出がありますように。



Topics

特集

新人症例発表

在宅訪問日誌

なごみ薬局

うちの薬局

コスモス薬局

薬剤師1年目
の集大成!

新人 症例発表

京都コムファの加盟する、京都市民医連では、薬剤師の教育研修の一環として4年目までの職員にはそれぞれテーマに沿った研修が行われます。今回は、2月〜3月に行われた、1年目薬剤師の「新人症例発表」を取材しました。今回の症例発表は「自分が気になった症例を調べて発表」という形がとられました。京都コムファからの発表者は5名。その中で誰の発表のどういう所が良かったかを、アンケートを取り、最も好評だった、みつばち薬局芦田さんの発表を紹介いたします。芦田さんの発表は、処方に対する疑問から降圧剤の種類を調べ、降圧剤の使われ方を調べ、その中で長時間作用する薬剤が主流であることを発表。短時間作用型の降圧剤を用いることは血中濃度変動が大きく、冠循環の悪化を招くため、長期的な投与は望ましくないと。これから自分に出来ることは何か。といった内容で、血圧の変動が激しい患者に対するアダラートカプセルの処方に疑問を感じ、独自に調べたものでした。

アンケートでは「着目点が素晴らしかった。自分では見過ごしていたかもしれない」「ただ調べただけでなく、その後どうサポートしていくか、何が自分出来るかをしっかり考えていたところを見習いたいと思った」「降圧剤1つとっても患者にとっては重要なこと。患者さんのことを第一に考えて業務に励んでいることが分かり刺激になった」といった意見が寄せられました。

「資料を作るのが大変そう」と、この記事を読んでいる皆さんは感じているかもしれません。実際、「日常業務をしながら調査をするのが難しかった」「スライドの表現方法などどうしたら分かりやすくなるのかまとめるのに苦労した」「在宅の患者であったために薬局の情報だけでは難しく、他職種からの情報も必要だった」などと、アンケートには苦労したエピソードが…。ですが、資料を作るためにアドバイスをしたり、必要に応じて専門職（医師やケアマネジャーなど）へ話を聞く機会を設けたり、薬局の先輩たちは新人をサポートします。

アダラートカプセルの単回投与

短時間作用型
・効果は20分以内
・服用1時間後で最高血中濃度
・半減期は2.5時間

半減期が短い
血中濃度変動が大きい
冠循環の悪化

降圧剤の種類と第一選択

第一選択薬の条件
・作用が穏やかである
・長期服用しても副作用が少ない
・他の薬と併用しやすい
・合併症に悪い影響を与えない

Ca拮抗薬 ARB/ACE阻害薬 利尿薬 β遮断薬

Dr. の処方疑問

なぜアダラートカプセルを処方したのか？
・以前の担当医から1年前に引き継いだ
・Fは血圧変動が大きく、1日を通して規制性がない

この点により有効性があり半減期の短いアダラートカプセルを処方している

考察

<アダラートカプセルの処方について>
短時間作用型であるため、一時的な効果は期待出来るかもしれない。しかし、その後血圧の変動が大きくなり長期的な投与は望ましくないと考えられる。

今の私にできることは何だろうか。

降圧剤服用患者へのアダラートカプセル処方を通して
みつばち薬局 芦田 成美

研修を通して1つの事例、1つの薬剤について深く考えることが出来たのは良かったことだと本人達は実感しているようです。大事なことは添付文書に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、「作用機序はどうだろう？半減期はどうだろう？副作用はどうだろう？そこからどういったことが考えられるか？その対策としてどうすれば良いのか？」など自分で考えていける事。そして、より重要なのは勉強したり、調べたりした知識を、医師・看護師・介護職・患者に「どのようにして伝えるか」です。せっかくの情報も正しく活用されなければ無意味になってしまいます。そのためにはコミュニケーション能力も欠かせません。

1年目の職員さんたちは今回の研修を通して深く勉強することを学びました。職能をもっとあげるために、次はこの情報の伝え方を意識して仕事に励んでもらえたらな。と先輩らしい発言をしてこの記事を終わりたいと思います。

みつばち薬局上賀茂店 前田裕介 (その他の発表)
「トラムセット配合錠服用患者における服用継続・中断の差違の調査・検討」長村 学
「チャンピックス使用患者の追跡調査」今井 恵利

「これからの在宅業務において薬剤師に求められるもの」高尾 翔太
「先発プロトピック軟膏から後発タクロリムス軟膏「NP」への変更による発赤の発症」山下 竜史

今回はなごみ薬局から、事例紹介が届きました。KTさん 女性 79歳 独居、息子は普段は仕事で忙しく、週末に訪問してくる。

高血圧、不眠症、中等度認知症、左大腿部骨折後左腓骨麻痺、膝人工関節術後、膝の痛みにより歩行困難、現在伝い歩きにて室内歩行のみ。診療所からの依頼により、訪問指導となった。

薬の副作用で目が見えなくなっと思込んでおり、副作用には敏感。人に対して好き嫌いが多く、本人には言わないが、医療・介護職種に対して不満がある様子。

昨年3月頃、薬が分からなくなったとの訴えで訪問し、薬を整理、カレンダーに張り出すことになり、本人も了承。ケアマネジャーや毎日2回ずつ入っているヘルパーと相談し、本人に服薬を促すように依頼する。その後は、ヘルパーに「ちゃんと飲むように」と言われたり、空包を確認されたりすることに「腹が立つ」などと不満は言われるが、服薬は安定して確保できていた。8月にはサービ担当会談が開かれ、本人への対応についても話し合われた。

12月末、膝の痛みから動けなくなり、自分で救急車を呼んで、かかりつけではない病院へ搬送され入院。1月中旬退院後、本人の様子は一変。カレンダーに張り出した薬を全部がして床にばらまいたり、夜中に服も着ないで床に座り込んでいたり、異常行動がみられるようになった。



連載コラム

在宅訪問日誌

第2回 なごみ薬局



直ちにサービ担当会談が開かれ、認知症が進んでいるため、くすりは本人の居室とは別に保管し、ヘルパーと息子が分担して本人に1回分ずつ渡すことになった。しかし、その後、本人から「薬がない」と頻りに電話がかかるようになり、本人が薬を探し出して、余分に飲んでしまっていることも発生した。

今年3月中旬、再度サービ担当会談が持たれ、ヘルパー、ケアマネジャー、訪問看護師、薬剤師、診療所看護師、デイサービス職員等から、「夜中に幻覚幻聴が聞こえる」と息子に電話。『「薬を隠している」と興奮し呼び出された訪問看護師が裏庭に閉じ込められる。』などの情報が出された。

年末年始の入院中にセロクエル（統合失調症のくすり）が中断されていたこと、また、本人が異常行動を認知症の悪化と判断し、薬を別室に隠したため、手元に薬が無いことによる不安感が抑えられなかったのではないかと分析。本人の見るところに薬を張り出し、ヘルパーが訪問時に薬を本人に渡すことにした。くすりが足りなくてもごみ箱を探すなどの行為は不信感を増すので行わないことも確認された。以後は、落ち着きを取り戻し、多少の飲みすぎはあるが、以前の様にヘルパーさんの援助で服薬を続けている。今回の事例は、他の医療・介護職との連携の大切さとともに、患者さんからも教えられることの多かった事例だった。

※サービ担当会談

在宅療養に関わるスタッフが集まり、介護サービ内容の検討などを行う会議。多くは、療養生活の場である患者宅で行われる。

うちの薬局



コスモス薬局

京都市中京区西ノ京小堀池町 18-7

コスモス薬局は、京都市中京区にある、京都コムファ内で最も規模の大きな薬局です。

処方箋の受付枚数は月平均8000枚以上、外来業務だけではなく在宅訪問も約80件のお宅にひと月に2〜4回程度ずつ、延べ200回/月ほど伺っています。

現在常勤薬剤師21名の他に、パート薬剤師、事務もたくさん在籍しているので、かなりの大所帯です。年齢も経歴もさまざまですが、みんな和気あいあいと働いています。

門前である中央病院・太子道診療所の処方箋を受けられることが多いですが、かかりつけ薬局として、他にも様々な医療機関からの処方箋を応需しています。いろいろな診療科の処方がかかるので、取り扱っている医薬品の種類も多く特殊なものもあり、とてもやりがいのある薬局です。

また、調剤機器や電子薬歴等の設備も充実しています。調剤室には錠剤分包機が2台、散剤分包機は4台あり、他にもいろいろなコンピュータが連動して動いています。

さらにミスを防ぐため調剤過誤について分析したり、POSに基づく薬歴管理で継続した服薬指導ができるようみんなを取り組んでいます。

コスモス薬局 後藤



Twitter アカウント@kyotocompha

各薬局の取組や説明会情報など、事務局がつぶやきます。



コムファリレー

京都コムファ HP 内

<http://www.kyoto-compha.or.jp/>

京都コムファで働く薬剤師のブログ
週3回更新しています。

一般社団法人京都コムファ

〒604-8454 京都市中京区西ノ京小堀池町 18-7

Tel:075-821-8010 FAX:075-821-8070

e-mail:yakugaku@kyoto-compha.or.jp

薬局見学・インターンシップ 随時受け付けています。
お申込み、お問い合わせは上記まで。